

冬期間の防災について

冬期間であっても、地震などの災害の発生に備え、防災対策を行う必要があります。

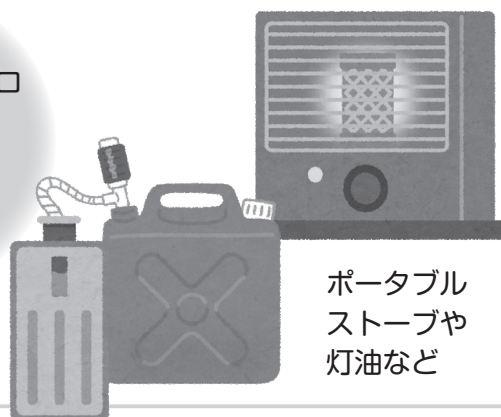
皆様のご家庭でも、冬の災害への備えを始めましょう。



【冬の地震に備えて】

災害時の停電に備え、食糧や飲料水、防寒具、使い捨てカイロなどの備蓄品や非常持出品のほか、ポータブルストーブや灯油などの電力に頼らない暖房器具を準備しておきましょう。

防寒具や
使い捨てカイロ



ポータブル
ストーブや
灯油など

【暴風雪に備えて】

冬期間は、天候が急変することがあります。テレビやラジオなどで防災情報を得るとともに、暴風雪が予想されるときは外出を控えましょう。

●気象情報(旭川地方気象台ホームページ)
<https://www.jma-net.go.jp/asahikawa>

●通行止め情報(北海道地区道路情報)
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

◎やむを得ず車で外出するときは…

- ・防寒着や長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に準備してから、外出しましょう。
- ・車の燃料が十分であることを確認しましょう。
- ・運転していて危険を感じたら、無理をせずに、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどへ避難して天候の回復を待ちましょう。

◎吹雪で車が立往生したときは…

- ・車が雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けていると、排気ガスが車内に充満して一酸化炭素中毒になる恐れがあります。車内で救助を待つ場合は、車のマフラーが雪に埋まらないように注意し、定期的に周囲を除雪するとともに、窓を開けるなどして換気しながら、救助を待ちましょう。

※窓を開けていても、車が雪に埋もれたままでは100%安全な換気状態とは言えません。

